

2016.10.23 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー

2016年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」(24)

「家を建てる者が捨てた石」

日本FM教団岸之里教会・畑野順一牧師

「家を建てる者たちの捨てた石。それが礎の石になった。」  
(詩篇 118:22)

1. はじめに：詩篇 118 篇とは
  - ・巡礼者たちの交唱に用いられた詩(19-20 節)
  - ・「信仰の力の確かな証の詩」(ルター)
  - ・22 節は新約聖書で多く引用されている
2. 礎の石とは：建物を支える四隅の土台石のことで、建物の大事な石のこと
3. 建築家が見捨てた石の不思議
  - ・普通の建築家が、役立たずとして放棄した石を、神が(特別なお計らいをもって)礎の石として用いなさるという逆転の発想
  - ・礎石としてのイスラエル：弱い、小さな民族であるイスラエルが、異邦人たちの救いの土台として選ばれた(23 - 25 節)。何たる光栄!
  - ・葡萄園の息子：農夫達(=律法学者達)が拒絶し、排除し、殺してしまった息子(=主イエス)が救いの根本とされる(マルコ 11:27 以降)。逆転!
  - ・十字架の主イエス：ペテロは、イスラエルが十字架につけて殺した主イエスが、復活し、救い主となった、と語る(使徒 4:10-12)。神の力!
4. 「見捨てられた石」が大切にされる他の例
  - ・弟子仲間ではない「伝道師」：弟子達には拒絶されたが、主は受け入れなさった(マルコ 9:38)。
  - ・子どもたち：弟子たちは彼らを叱ったが、主はこれを受け入れ、祝福された(マルコ 10:13-14)。
  - ・倉橋惣三：日本の幼稚園の父として、キリスト教に基づく幼児教育、子ども中心の保育の土台を据えた。

- ・教会と宗教：現代は「捨てられた」存在となっている。しかし主は教会をその働きに用いなさる。
- ・聖さを求める信仰：これも人間中心主義と合理主義によって「捨てられている」。クリスチャンの中ですら、聖さとは「できっこない」教えとして捨てられている。しかし、私たちが救いを信じて委ねたものは、キリストの十字架と復活から出ているものである。「もしイエスを死者の中から甦えさせた方の御霊が、あなた方の内に住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中から甦えさせた方は、内に住んでおられる御霊によって、あなた方の死ぬべき体をも生かしてくださるのです。」(ローマ 8:11)
- ・主の御業を信じよう。